



反射炉跡

仙巖園入口付近にその基礎部分が遺る
反射炉跡は、第28代島津家当主・齊彬時代の集成館事業の数少ない遺構。



維新ふるさと館
幕末から明治維新にかけて活躍し、
近代日本の原動力となった西郷隆盛や
大久保利通などの資料を展示。

△大阪に息づく、薩摩・鹿児島の軌跡△

明治維新 The 150th シンポジウム 力ウントダウシ



©鹿児島市
若き薩摩の群像
1865年、薩摩藩は密かに英国へ留学生を派遣。使節は留学生合わせて19名が海を渡りました。



©鹿児島市
異人館
(旧鹿児島紡績所技師館)
鹿児島紡績所での技術指導のために招かれたイギリス人技師たちの住まいとして用意した建物。



桜島と五代友厚銅像

明治維新があつた約150年前。天下の台所と謳われた大阪は、上方で主に商品取引の際に基準とされていた銀目の廃止や株仲間の解散で商取引きが混乱し、経済活動は極めて衰退していました。その中で明治11年9月に鹿児島県出身の五代友厚らが大阪商法会議所(現・大阪商工会議所)を設立、また五代友厚が初代会頭となり、近代大阪の基礎を作ることに尽力しました。今回、大阪と鹿児島の繋がりから、明治維新を探求します。

宿泊券や特産品などが当たる
“かごんま”お楽しみ抽選会を開催!

入場
無料

要事前申込み
(定員400名)

日時

2014年10月14日

17:00開場／17:30開会／20:00終了(予定)

会場

阪急うめだホール

(大阪市北区角田町8-7 阪急百貨店うめだ本店)

・阪急「梅田」駅から徒歩約3分
・地下鉄谷町線「東梅田」駅から徒歩約2分
・阪神「梅田」駅から徒歩約3分
・地下鉄四つ橋線「西梅田」駅から徒歩約6分
・JR「大阪」駅から徒歩約4分
・地下鉄御堂筋線「梅田」駅から徒歩約2分



主 催：観光かごしま大キャンペーン推進協議会(事務局：鹿児島県観光課)／読売新聞西部本社



西郷隆盛銅像

下級武士の子として鹿児島城下に生まれた西郷隆盛は、名君・島津斉彬に見出され、明治維新や明治政府の設立に多大な功績をあげた。

プログラム

- 17:00 開場
- 17:30 基調講演 加来 耕三氏 (歴史家・作家)
「薩摩藩士・五代友厚と大阪経済」
- 18:30 明治維新パネルトーク
「大阪に今も息づく、薩摩・鹿児島の軌跡」
 - 【コーディネーター】
読売新聞西部本社編集委員 時枝 正信氏
 - 【パネリスト】
鹿児島市長 森 博幸氏
島津 実裕氏
 - 大阪企業家ミュージアム
館長 宮本 又郎氏
砂田 光紀氏
 - 薩摩藩英国留学生記念館
総合プロデューサー 小日向えり氏
- 19:50 “かごんま”お楽しみ抽選会
- 20:00 終了予定

明治維新 カウントダウン シンポジウム

The 150th

参加者募集中



加来 耕三

◇歴史家・作家／1958年生まれ。大阪市出身。現在は大学・企業の講師をつとめながら、歴史家・作家として著作活動をおこなっている。テレビ・ラジオの番組監修・出演などの依頼も少なくない。その他、コメンテーター等でのメディア出演多数。

プロフィール



時枝 正信

読売新聞西部本社編集委員。
1955年 大分県出身。79年同志社大学を卒業。読売新聞西部本社に入社。長崎支局・社会部・大分支局、配信部長などを経て、2009年5月から現職。編集委員として、地方行政・観光行政などを主に担当。九州国際大客員教授、福岡大、熊本大などで非常勤講師も務める。



森 博幸

鹿児島市長。
1949年 鹿児島市出身。横浜市立大学卒業後、同大学院経済学研究科、経済学部助手、助教授を経て、同教授に就任。現在、大阪大学名誉教授、関西学院大学・放送大学の客員教授、江崎グリコ(株)社外監査役、大阪企業家ミュージアム館長、経済学博士。著書「近世日本の市場経済」「企業家たちの挑戦」「企業家たちの幕末・維新」など。



宮本 又郎

1943年 福岡市出身。神戸大学経済学部卒業後、同大学院経済学研究科、経済学部助手、助教授を経て、同教授に就任。現在、大阪大学名誉教授、関西学院大学・放送大学の客員教授、江崎グリコ(株)社外監査役、大阪企業家ミュージアム館長、経済学博士。著書「近世日本の市場経済」「企業家たちの幕末・維新」など。



小日向えり

1988年 奈良県出身。横浜国立大学卒、歴史好きアイドル。趣味は歴史、史跡巡りで特に戦国時代、幕末に興味をもつ。TV、ラジオ、各種イベントなど多方面で活躍しており、NHK「高校講座 世界史」でメインMCを努める。日本城郭検定3級など、歴史関連の資格を多数持つ。



島津 忠裕

1972年 鹿児島市出身。島津家33代。株式会社島津興業副社長。慶應義塾大学経済学部卒業後、日本興業銀行に入行。2004年に㈱島津興業に入社し、総合企画室長、取締役を経て2009年現職に就任。照國神社・鶴嶺神社・鹿児島県特産品協会理事、裏千家淡交会鹿児島支部副支部長。



砂田 光紀

1963年 鹿児島市生まれ。博物館学芸員を経てオフィスフィールドノートを設立。全国の博物館、公共施設、店舗街づくりの統括プロデュース、再生プランを手がける。日本の近代化に寄与した薩摩藩の歴史・尚古集会館・仙巖園のデザイン・プロデュースを担当。今年7月には総合プロデュースした「薩摩藩英国留学生記念館」がオープン。

参加お申し込み方法

「明治維新150周年カウントダウンシンポジウム」係と明記し、以下の必要事項をご記入の上、FAX、ハガキ、WEBのいずれかの方法でお申し込み下さい。①氏名(ふりがな) ②〒・住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤参加人数

●FAX 092-714-0681

●ハガキ 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15-2F
「明治維新150周年カウントダウンシンポジウム」係

●WEB専用応募フォーム <https://quoker.jp/Q/auto/ja/ishin2014/sympo/>

【締切と発表】

平成26年
10月3日(金)必着

※当選者の発表は、聴講券の発送をもってかえさせて頂きます

